

あべともこニュース



第208通常国会開会。参院選を見据えた論戦へ。

◆通常国会、本格論戦へ

17日に通常国会が開会。会期は、6月15日までの予定です。昨年暮れの大型補正予算に続いて、戦後最大規模となる今年度予算案は約107兆円。果たして、脱炭素社会に向けて産業や社会構造の転換をはかるものとなっているのか、コロナ感染症を含めて、災害対策は国民の生命と暮らしを守るものとなっているのかなど、しっかりと論じていきます。

国土交通省による二重計上問題の徹底究明、政府の入管法改悪案に代わる改正案でどう人権を擁護するか。また新設される子ども家庭庁が、本来の意味で子どもの権利を基本においた社会を実現する為のものとなるよう、更に、7月10日には参議院選挙が予定される中、拙速な憲法改正論議とならないよう、論点を明確にしていきたいと思います。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県12区（藤沢市・寒川町）
 当選8回、東京大学医学部卒業、
 小児科医、あべともここどもクリニック（湘南台）理事長
 現在、厚生労働委員会・沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員長、
 原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ
 公式Twitter
 @abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ事務所
 公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

あべともこ後援会入会及び、ボランティアスタッフ募集中！

学校・教育施設でのクラスターは新学期に増える



出典：日本経済新聞 1/14「感染増、学校が急所 検査拡充で欧米に後れ」

◆エッセンシャルワーカーを守る！

オミクロン株の拡大により、感染者や濃厚接触者となった医療従事者の欠勤が増加。また医療のみならず、ゴミの収集や交通機関、介護、福祉、保育分野、教育現場など社会的機能を維持する方々の状況も深刻です。そうした中で政府は、濃厚接触者の待機期間を、エッセンシャルワーカーは6日間に短縮すると発表しましたが、そもそも感染リスクの高い現場で働き続ける労働者に関するものは、万全の予防的、定期的検査が保障されねばなりません。

濃厚接触者の待機期間 NHK	
原則	接触から10日間
エッセンシャルワーカー待機解除	接触から6日目 PCR検査か抗原定量検査で陰性
医療従事者の特例	毎日の業務前検査で陰性 6日経過前でも医療現場可

出典：NHK1/17「オミクロン株 濃厚接触者の待機短縮 医療等エッセンシャルワーカーは」

◆子どもを守る！検査体制の充実を。
 子ども達にも感染が拡大し、10歳未満の感染者も急増しています。冬休みが終わり、登校が再開されたことや受験シーズンに伴う通塾も要因の一つだと言われています。
 アメリカでもイギリスでも子ども達への検査体制の充実がまず第一。米国では週1回唾液によるPCR検査が実施されるところもあります。日本国内でもワクチン接種以前に、子どもへの検査体制は早急に充実されるべきです。
 感染から守るため、オンライン学習は重要ですが、タブレット端末が確実に配布されることやネット環境の整備、加えて、教員側の指導方法等の確立も急を要します。
 また、学校の休校により、子どもの世話を為に仕事を休まざるを得ない場合は、小学校休業等の支援金があり、個人でも申請可能なので、是非多くの方に活用いただきたいです。